



PRESS RELEASE

岡山大学記者クラブ加盟各社 御中

令和 5 年 7 月 28 日
岡 山 大 学

岡山大学がトリノ大学らと組んで実施する国際共同研究プロジェクト
「Beyond Archaeology(考古学を超えて)」の研究成果展が
イタリアのトリノ大学で開催

岡山大学が日本のパートナー機関として参画し、イタリアのトリノ大学を代表とする欧州 3 研究機関・3 企業と実施する国際共同研究プロジェクト「Beyond Archaeology（考古学を超えて）」の成果展がイタリアのトリノ大学で始まり、6 月 16 日のオープニングセレモニーに那須保友学長、本プロジェクトの岡山大学のリーダーを務める文明動態学研究所の松本直子教授・所長、学術研究院社会文化科学学域の清家章教授、研究推進機構の宇根山絵美学術研究推進本部長・主任リサーチ・アドミニストレーター（URA）が出席しました。

「Beyond Archaeology」は、日本と欧州の考古学者と考古科学（Archaeometry）を専門とする幅広い分野の研究者（化学、物理学、生物学、地質学、岩石学、獣医学、土壌科学等）が協力し、古墳時代を中心とする日本考古学に関する高度な分野融合的研究を推進するプロジェクトで、考古学・考古科学を通して、発掘現場から博物館までの新しいストーリーテリングの提供を目指し、欧州連合（EU）の Marie Skłodowska-Curie Action の Horizon 2020 研究・イノベーションスタッフ交換交流プログラム（RISE プログラム）の助成を受けて 2019 年に開始されました。

本プロジェクトでは、鳶尾塚古墳（岡山県総社市）で共同調査を行い、墳丘や石室の三次元データ化、土壌サンプルの採取と分析、出土した土器や鉄器の理化学的な分析を行うとともに、岡山大学がこれまでに調査してきた楯築遺跡（倉敷市）出土土器などの共同研究を進めてきました。研究成果展では、こうしたデータ等をバーチャルリアリティ（VR）で再現するなど、デジタルを活用したユニークな成果公開に取り組んでいます。今回の展示に先立ち、2022 年 10 月から 12 月には、プロジェクトの関連機関である島根県立古代出雲歴史博物館にて、企画展「出雲と吉備」のコラボレーション展として、同プロジェクトの成果『Be-Archaeo 物語ー科学と伝統のはざまー』を開催しました。

また、岡山大学那須保友学長は、トリノ大学 Stefano Geuna 学長や関係者らと面談し、岡山大学とトリノ大学の連携強化について意見交換を行いました。岡山大学は、考古学の国際共同研究プロジェクトで、海外から研究者ら 42 名（内トリノ大学から 30 名）を受け入れており、発掘現場の調査や埋蔵物の理化学的分析、成果のデジタル化等の共同研究を進めてくるなど強固な連携関係を構築しています。



PRESS RELEASE

岡山大学は、欧州ホライズンヨーロッパの研究・イノベーションスタッフ交換交流プログラム（RISE プログラム）を活用した国際頭脳循環の加速を積極的に進めており、現在、考古学の他、高等教育や宇宙物理学、情報セキュリティに関する分野で、欧州と連携したプロジェクトに取り組んでいます。

今後も、人の交流を軸にした強固な連携関係を構築し、国際的に競争力を有する研究拠点の形成に取り組んでいきます。



トリノ大学学長らと意見交換を行う
那須保友学長



トリノ大学学長と記念品を交換



鳶尾塚古墳発掘現場のヴァーチャル
リアリティーを那須学長が体験



成果展示パネル前で松本直子教授
及び清家章教授とともに



トリノ大学学長らと集合写真